

令和5年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

福岡県立新宮高等学校

自己評価				
学校運営計画(4月)				評価(総合)
学校運営方針	地域の豊かな精神的風土を背景に、美しく、たくましい自然の中で、浩(ひろ)い心(浩然こうぜん)の気(き)=広くゆったりした強く正しい心を養い、誇りをもって日本文化の継承・発展に努め、開かれた世界において信頼される人間を育成する。			A
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標		
昨年度はコロナ禍により教育活動が制限されたが、その中でも学校行事等を工夫して実施することで文武両道を推進した。その結果、学校満足度や地域からの期待度が更に上昇した。今年度は創立48年目にあたり、伝統校への足がかりを確固たるものにするため、校訓「畏敬」の精神を根本とし、生徒の学力向上、高い志の実現とたくましい人間力の育成のため、先見性のある計画的かつ効果的な教育活動を展開する。	・新宮町及び古賀市、福津市との連携を図りながら、地域に開かれた、地域からの要望に応える教育活動を展開する。 ・理数科が本校の基軸として発展するための特色ある方策を継続する。 ・新宮グランドデザインを踏まえ、各分掌の連携を強化し、教職員の共通理解の徹底を図る。 ・異文化理解の態度育成、グローバル社会に貢献できる人材づくりを目指した英語力向上の取組を推進する。 ・すべての教育活動において、自他の人権尊重の精神を養う教育活動を推進し、人権教育及び特別支援教育を充実させる。	・総合的な探究活動等の充実を図るための町役場や地域との連携の継続 ・理数科の広報活動や地域説明会の工夫 ・3年間を見通した系統性のある授業・進路指導プランによる学力向上と高大接続改革への対応 ・難関大学進学に向けた取組の充実 ・外部模試の素早い分析と全体への周知徹底 ・ICTの活用、生徒による授業アンケート等による授業改善の取組の工夫と強化 ・部活動入部率の維持と活動実績の向上及び生徒会・委員会活動の充実 ・English Camp、短期海外研修による学びの実践 ・英語検定受験の積極的推奨 ・人権教育及び特別支援教育研修の工夫と改善 ・スクールカウンセラーの活用をはじめとする教育相談体制の充実		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	
教務課	観点別評価を意識した授業実践	教務規定の改定とともに観点別学習評価を浸透させる。	A	A ・観点別学習評価の浸透を図る。 ・一人一台クロムブックの活用を図る。
		学校教育活動の様々な場面で一人一台端末の活用を実践する。	B	
		統合型校務支援システムにより教職員の校務の効率化を図る。	A	
広報課	中学校や塾への広報活動の拡充 ニーズに即した本校の最新情報の提供	メディア委員会を立ち上げ、各メディアから新宮高校の良さや生徒の生き生きとした姿を発信する。	B	A ・中学生の一日体験入学の申し込み方法の検討を行う。 ・高校見学の実施について、円滑な受け入れを行うためにモデルコースを提示する。
		新宮高校の特色をまとめたリーフレットを第1回中学校訪問までに作成し、学校訪問、塾訪問時に活用できるようにする。	A	
		新たな紹介動画・ポスターの作成や学校キャラクターを活かしたPRを行う。	A	
		新宮町おもてなし協会と連携し、西鉄電車の中吊りポスターや新宮中央駅パネルポスター作成など生徒が活躍できる場の設定をする。	B	
		本校の雰囲気や生徒の活動が具体的に伝わるようなHP・SNSを発信する。	A	
生徒指導課	生徒の自治力、規範意識向上に向けた取り組みの推進	中学生の体験入学やPTAの学校訪問では、来校した生徒・保護者の満足度が高くなるような内容の工夫を行う。	A	A ・生徒会・PTAとの協議を行い校則改訂を進めることができた。 ・生徒の安全安心にかかる種々の生徒指導体制を整備し改善を図る。
		本校生徒が在籍していた塾を調査し、在籍生徒数が多い塾を訪問する。	A	
保健課	ワンヘルスの理念に基づき自他の環境や健康の管理・保全を図る。	社会の変化、生徒・保護者の視点を踏まえ校則の見直しを図る。	A	A ・健康課題に対する早期発見・早期治療の重要性を伝えることで健康診断の再受診率を高め生徒自身が健康の二次予防に努められるよう啓発していく。 ・美化意識を高める必要がある。
		きめ細かな配慮を要する生徒の情報共有やいじめ問題防止に向けた教育相談の充実を図る。	B	
進路指導課	探究学習の充実発展 進路実現のための支援	健康診断を通して自他の健康課題に気付かせ、健康な生活を実践させる。	A	A ・課外授業・補習授業のやり方を、補助教材(スタディサプリ)を導入するするなどし、大幅に変え実施していくため、様々な視点から分析を行い実際に教職員及び生徒にとって本当に良いものになっているのかを総合的に判断する。
		学習環境を整える意識を高め環境美化へ積極的に参加することを指導する。	B	
図書課	開かれた図書館	キャリア教育の充実(進路行事や進路学習、探究活動のキャリアパスポートの活用)	A	A ・図書委員による『トライアングルタイムズ』の発行数を増やす。
		言語活動の充実(社会問題に触れる機会を定期的に設け、課題への理解を深める。)	A	
研修課	ICT活用による授業改善の推進	入試への対応、生徒の進路意識の高揚、維持を図るための指導の工夫や情報提供	A	A ・生徒用端末の授業での活用を推進する。 ・相互授業参観期間を設定し、教員同士で学び合う機会をつくる。 ・学校が抱えている課題に合わせた校内研修を実施する。
		ICT支援員と連携、協力し、少人数によるICT研修を学期に2回以上実施する。	A	
		相互授業参観期間を設定し、ICTの効果的な活用について教員同士で学び合う機会を提供する。	B	
庶務企画課	業務をスリム化し、PTA・同窓会との連携を密に図りながら、創立50周年に向けて準備を行う	授業アンケートの方法や内容を改善し、授業改善に生かせるものにする。	A	A ・50周年事業の予算計画、キャッチフレーズ等具体的な内容を決めていく。また、生徒会等の生徒アンケートを実施する。
		各分掌との連携を図り、コロナ前と禍を融合した新たなスタイルの教育活動を円滑に実施する。	A	
		Classi等を活用し、PTA・同窓会との連携を効率的に行う。	A	
1学年	誰からも信頼される生徒の育成 主体的に取り組む生徒の育成	創立50周年記念事業の準備として、今後3年間の事業計画及び講師選定などを行う。	B	A ・年度当初に人間関係を構築するような場面を設定することで、孤独感からくる不登校や保健室登校の生徒を減らす。 ・修学旅行や体育祭等の行事を通して、主体的に動ける生徒を育成する。
		挨拶や言葉遣いに加え、時間や期限、ルールを厳守することを徹底して指導する。	A	
		進路に対する意識を高くもたせ、調査や模試の前だけでなく、日頃から学習に取り組む習慣を身に付けさせる。	A	
2学年	主体性と高い進路意識の育成	積極的に部活動や学校行事に参加するよう促し、学力だけでなく人間的な成長を図る。	B	A ・生徒会活動や部活動、文化祭・体育祭などの行事を通してリーダーシップを発揮できる生徒を育成する。 ・高い目標をもち、その実現のために積極的に主体的に行動できる生徒を育成する。
		修学旅行等において集団をまとめる機会を設定し、リーダーの育成を図る。	A	
		進路行事や学年学習行事を実施し、生徒が主体的に学ぶ姿勢を育成する。	B	
3学年	希望進路の実現 リーダーの育成	総合的な探究の時間や類型別集会を通して進路に関する考察を深め、自己変革の意識をもたせる。	A	A ・3月の国立大学後期試験まであきらめず頑張り抜く生徒を育てられるように日頃から生徒把握し指導する。 ・英検やGTECの資格試験を早い段階から積極的に挑戦させていく。
		教員と生徒の目線を合わせるような類型別集会を実施していく。入試情報などは最低限与え、できるだけ生徒自身が調べるようにする。	B	
		体育祭を全員にしっかりと取り組ませ、学年の団結力を育ませる。そして、模試の結果に一喜一憂させず、自分が掲げた目標に対し「分析・計画・実行」を真摯に取り組ませる。	A	
理数科	生徒の探究力、表現力の伸長および広報活動の工夫・改善	理数探究の時間、課題研究、高大連携セミナー内で探究活動を複数回実施する。	A	A ・研究活動の充実のため、学年間の交流を取り入れる。 ・生徒が生きて活動できる場の提供を維持する。 ・校内の広報に尽力する。
		学年や学校を越えた繋がりをつくり、研究活動を充実させる。	B	
		地域説明会での生徒の活動を増やすとともに、HPの更新を効果的に実施する。	A	
事務	計画的で正確・効率的な事務執行を目指す	教育活動の充実のため、各部署とのコミュニケーションをとり費用対効果の把握に努め、予算を効率的に執行する。	A	A ・物品や財産の適切な管理に努め、大規模改造工事に向けてスリム化を行いながら教育環境の整備に努める。 ・事務室内での情報共有と連携を図り、効率的・計画的な事務処理と予算執行を行う。
		事務室内での連携と協力を心掛け、情報共有を行い、風通しの良い事務室を目指す。	A	
		物品や財産の適切な管理を行うとともに、教育環境の整備を図る。	B	

学校関係者評価	
評価(総合)	自己評価は
A	A : 適切である B : 概ね適切である C : やや適切である D : 不適切である
項目ごとの評価	学校運営協議会からの意見
A	総合的な探究の時間での新宮町の課題解決に向けた役場や地域企業との連携、JR九州新宮中央駅との作品展示や放送等での連携は大変良い取組であり、今後も継続して欲しい。文武両道で楽しく活気の溢れる高校であるので、校風として継続してほしい。
A	引き続き通学時のマナー向上や自転車通学生へのヘルメット着用等の指導をお願いする。また、貧血で体調不良になる若者が散見されるので朝食の重要性などの指導をお願いする。
A	進学に関するサポートは素晴らしい。今後も、国立大学や有名私立大学への合格率の向上をお願いする。
A	50周年記念事業は地域をまき込んで、生徒にとって有意義なものになることを期待している。デジタルを有効活用し働き方改革に繋げてほしい。
A	生徒一人一人が目標に向かって自主的・主体的に学べるようサポートされている点がとても良いです。また、今後もより高い文武両道を期待している。登下校時の表情はいきいきとしている。日頃の挨拶など社会人として重要な基本的な姿勢を引き続き指導してほしい。
A	広報の場として駅を活用してほしい。県内No1の理数科を目指してほしい。
A	周辺住民への工事案内等の連絡を引き続きお願いしたい。
評価項目以外のものに関する意見	
今後の成果向上を引き続き期待します。	

自己評価及び学校運営協議会評価を踏まえた今後の改善策

観点別評価やICT活用を充実させることを通じて、授業改善を推進し学習意欲や進路意識等の向上を図る。
 総合的な探究の時間、新宮総合大学や新宮青松講演会などの進路行事を充実させ、キャリア教育を推進する。
 学校行事や部活動を充実させることを通じて、主体性、協調性等の向上とリーダーシップやチャレンジする態度等の育成を図る。
 地域と連携した教育活動を推進し、広報誌やホームページを用いて時宜を得た情報を発信する。